

令和 2 (2020)年度 犬山国際交流協会通常総会



第24回フロイデまつり メイン看板
愛知県立犬山高等学校 美術部、JRC 部作成

日時：令和 2 年 6 月 27 日（土）午前 10 時～

場所：犬山市民交流センター「フロイデ」201 会議室

犬 山 国 際 交 流 協 会

INUYAMA INTERNATIONAL ASSOCIATION

令和 2(2020)年度犬山国際交流協会通常総会次第

1. 開会
2. 会長あいさつ
3. 来賓挨拶
4. 総会成立宣言
5. 議長選出
6. 議事録署名人選出
7. 議事
 - (1) 議案第 1 号 令和元(2019)年度犬山国際交流協会事業報告について
 - (2) 議案第 2 号 令和元(2019)年度犬山国際交流協会収支決算書について
 - (3) 議案第 3 号 令和 2(2020)年度犬山国際交流協会役員の選任について
 - (4) 議案第 4 号 令和 2(2020)年度犬山国際交流協会事業計画（案）について
 - (5) 議案第 5 号 令和 2(2020)年度犬山国際交流協会予算（案）について
 - (6) 議案第 6 号 犬山国際交流協会会則の一部改正（案）について
8. その他
9. 閉会

会議事業に関すること

- ・通常総会 5 月 18 日(土)
 - ・平成 30 年度青少年交流育成事業派遣生徒発表
 - ・交流会:多国籍料理(ペルー料理、ブラジル料理、ドイツお菓子)
- ・理事会
各種事業の実施計画の審議、実施結果の評価及び反省点の明確化を図った。
これにより、各種事業内容の改善を図るようにした。
 - 第 1 回 5 月 9 日(木) 第 2 回 7 月 30 日(火)
 - 第 3 回 10 月 24 日(木) 第 4 回 1 月 21 日(火)
 - 第 5 回 1 月 27 日(月) 第 6 回 3 月 27 日(金) 計 6 回開催
- ・運営委員会
正副会長会議 第 1 回 7 月 30 日(火)
第 2 回 11 月 29 日(金) 計 2 回開催

受託事業に関すること

☐ 国際交流推進事業委託業務

国際交流を進めるために、個人や団体の活動を支える事業を実施した。

(1) 日本語教室開催事業

犬山周辺に住む外国人が、日本語で会話することができるように、日本語を学ぶ教室を開催。教室運営はボランティアグループ犬山日本語教室による。初回に簡単な聞き取り調査をし、レベルや目的別にに応じてクラス分けをし、開催。

開催日時:毎週日曜日 午前 10 時～11 時 45 分

開催日数:全 42 回 ※3 月～感染症拡大防止のため中止

クラス数:5 クラス 延 792 名参加

開催場所:犬山国際観光センター(以下、フロイデと称する)及び、IIA プラザ(4 月～9 月)

犬山市福祉会館(10 月～3 月)

ボランティア数:15 名

広報:ホームページ、Facebook、チラシ配布(7 言語/ベトナム語、タガログ語、中国語、ポルトガル語、スペイン語、英語、やさしい日本語)

(2) ニュースレター発行・発信事業

在住外国人の生活に役立つ情報を記事にして、多言語に翻訳し、発行・配布を実施。また、ホームページや Facebook を利用し、多言語にて発信。94 号より翻訳言語以外の在住外国人が読めるよう、日本語からやさしい日本語へ変更。

【ニュースレター会議、翻訳、発行】

- ・ 93 号(9 月 9 日発行) 発行部数:1,649 枚

言語:7 言語(ベトナム語、タガログ語、中国語、ポルトガル語、スペイン語、英語、日本語)

翻訳会議:6 月 30 日(日) 場所:フロイデ 翻訳・ネイティブチェック者:19 名

- ・ 94 号(3 月 16 日発行) 発行部数:1,357 枚

言語:7言語(ベトナム語、タガログ語、中国語、ポルトガル語、スペイン語、英語、やさしい日本語)

翻訳会議:1 月 19 日(日) 場所:犬山市福祉会館 翻訳・ネイティブチェック者:21 名
配布場所(93・94 号):市内小中学校・子ども未来園、外国人在勤企業、犬山市役所(記事関係課)、フロイデ、楽田ふれあいセンター、ラ・カサ・ビエハ(ペルー料理店)等
配信方法:ホームページ、Facebook

(3) 国際交流員企画事業実施業務

国際交流員(観光交流課)(カタリナ・カウフマン氏)による企画のもとに、ドイツ語講座、ドイツの部屋、子ども未来園訪問等の開催に関わる実施業務を行った。

- ・ 国際交流員によるドイツ語講座 初級コース(毎週金曜日)
 - 1 回目 6 月 21 日～9 月 13 日 全 10 回 場所:フロイデ 参加者:19 名
 - 2 回目 9 月 27 日～12 月 20 日 全 10 回 場所:犬山市役所 参加者:19 名
 - 3 回目 1 月 10 日～3 月 27 日 全 8 回(※) 場所:犬山市役所 参加者:16 名
※感染症拡大防止のため、全 5 回で終了。
- ・ 国際交流員によるドイツ語講座 中級コース
 - 1 回目 11 月 6 日～12 月 18 日(毎週水曜日)全 5 回 場所:犬山市役所 参加者:9 名
 - 2 回目 2 月 18 日～3 月 24 日(毎週火曜日)全 5 回(※) 場所:犬山市役所 参加者:9 名
※感染症拡大防止のため、全 2 回で終了。
- ・ 国際交流員によるドイツの部屋
 - 「小麦粉を使わないクッキー」12 月 1 日(日) 場所:犬山市南部公民館 参加者:4 名
 - 「クリスマスクッキー」12 月 8 日(日) 場所:犬山市南部公民館 参加者:9 人
- ・ ドイツの紹介
 - 8 月 25 日(日) フロイデまつりにて開催(1 階エントランス)
 - ドイツのまつりゲーム体験、ドイツの飲み物、ポスター展示等で紹介。

(4) 多文化共生推進員企画事業実施業務

多文化共生推進員(観光交流課)(大島ヴィルジニア・ユミ氏)による企画のもとに、多文化文庫の紹介や外国人住民向け防災訓練の開催に関わる実施業務を行った。

- ・ 多文化文庫の紹介
 - 8 月 25 日(日) フロイデまつりにて開催(4 階ホール)
- ・ 外国人住民向け防災訓練実施
 - 2 月 9 日(日) 場所:犬山市消防本部
 - 参加者 7 名(スペイン語 3 名、ポルトガル語 2 名、日本人 2 名)

(5) 海外受入事業

ハレ市派遣生徒である中高生 4 名と随員 2 名を受入れ、市内小中学校訪問、またホームステイ受入れなどの実施により、異文化に対する理解を深め交流を図る事業を行った。

訪問日:6 月 3 日(月)～9 日(日) 6 泊 7 日

訪問人数:6 名(中高生 4 名、随員 2 名)

主なスケジュール:市長表敬訪問、市内小中学校体験、ホームステイ体験、ハレ市派遣生

徒によるプレゼンテーション、犬山城登閣、夜うかい体験、書道見学、青塚古墳訪問、買物体験、懇親会等。

※市長表敬訪問、夜うかい体験、懇親会はホストファミリーも参加。

ホストファミリー事前説明会：5月23日（木）場所：フロイデ

参加者：ホストファミリー4家族

□ 国際交流事業開催委託業務

フロイデまつり

「ともに、新しい時代へ」をテーマに犬山市における多文化共生、国際理解の推進に資する国際交流の総合的な祭典として開催。1階と4階会場をつなぐため、スタンプラリー参加による、かき氷の無料配布を行った。外国人住民の参加を増やすため、参加者募集時の案内や申込書を4言語（ポルトガル語、スペイン語、英語、日本語）で実施。当日プログラムも7言語で作成。

開催日：8月25日（日）

場所：フロイデ 1階・4階

参加団体：〈出展〉51団体（朝市21団体、多国籍11団体、その他19団体）

〈出演〉14団体

来場者数：推定 700名

参加ボランティア数：延べ 59名

設営・片付け：計3回（8/8:14名、8/24:22名（内、犬山高校6名）、8/25:23名）

愛知県立犬山高等学校、所属ボランティアグループ、他多くのボランティア協力により開催

出展者・出演者説明会：

〈一般〉 7月17日（水） 場所：フロイデ

〈外国人〉 7月21日（日） 場所：フロイデ

参加者言語：スペイン語（6団体）、ポルトガル語（3団体）

通訳：スペイン語

資料翻訳：スペイン語、ポルトガル語、やさしい日本語

広報：A4版チラシ（告知版）1,200枚（カラー/3言語 スペイン語・ポルトガル語・日本語）

市関連施設、語学講座、賛助会員、ラ・カサ・ビエハ（ペルー料理店）等に配布

A3版チラシ（当日プログラム）約2,200枚（カラー/7言語 ベトナム語、タガログ語、中国語、ポルトガル語、スペイン語、英語、日本語）

市関連施設、賛助会員、ニュースレター配布先企業等に事前配布

ホームページ、Facebook

□ コミュニティ通訳育成事業委託業務

行政窓口、健康・保健、教育等の分野で外国人のコミュニケーションにおける通訳のニーズに適切に対応できる能力を備えたコミュニティ通訳者を育成することを目的として、全4回の講座を実施。また、コミュニティ通訳者確保のため、認定試験を実施。

(1) コミュニティ通訳者育成講座の開催

1) スキルアップ講座

受講者数：21名（ポルトガル語5名、中国語5名、英語5名、スペイン語4名、タガログ語2名、ベトナム語0名）

第1回：11月10日（日）出席者13名

「翻訳講座」 講師 金村 久美（名古屋経済大学准教授）

第2回：11月17日（日）出席者17名

「通訳の役割と倫理」 講師 水野 真木子（金城学院大学教授）

第3回：11月24日（日）出席者14名

「通訳の基礎トレーニング」 講師 水野 真木子（金城学院大学教授）

第4回 :12月15日(日) 出席者14名

「普通救命講習1」 講師 消防本部・消防署職員

2) コミュニティ通訳者認定試験

日時:12月22日(日)

受験者数:4名(ポルトガル語2名、中国語1名、タガログ語1名)

試験内容:筆記試験、ロールプレイ試験実施

合格者:2名(ポルトガル語2名)

(2) コミュニティ通訳者派遣運営支援業務

市登録のコミュニティ通訳者及びサポーターを市役所窓口や子ども未来園、小中学校等行政機関に派遣し、通訳業務を実施。

派遣延回数:26回

派遣場所:市内子ども未来園、市役所福祉課、犬山市消防本部、相談者自宅等。

内容:児童の個人懇談、入園に関する相談、ディサービス利用調査、子どもの発達障害等。

□ 犬山市各種申請書等翻訳事業委託

外国人市民のために、市役所窓口や子ども未来園、小中学校等行政機関で使用する各種申請書や文書などを市登録のコミュニティ通訳者、サポーター他に依頼し翻訳業務を実施。

言語:ベトナム語、タガログ語、中国語、スペイン語、ポルトガル語、英語(6言語)

翻訳依頼文書数:36文書

言語別翻訳依頼文書数:延べ144文書

手配件数:96件

翻訳文書:「身体障害者手帳について他」、「障害児童通所更新案内」、「市民税・県民税の払い方が変わります」「児童手当・特別給付に係る学校給食費等の徴収等に関する申出書」等

自主事業に関すること

□ 語学講座開催事業

国際交流、多文化共生推進の基礎力アップを目的とし、6言語の外国語講座を開催。

言語:英語、韓国語、ドイツ語、スペイン語、ポルトガル語、中国語

年間受講者数:468名(前期255名、後期213名)

前期 (各講座全15回(中国語のみ全10回)) 講座期間:5月7日(火)~9月5日(木) 申込期間:4月3日(水)~15日(月) ・ランゲージカフェ(無料オープン講座)開催 4/11(日) 延べ31名参加 ・英会話レベルチェック相談会開催 4/11(日)、4/14(木) 延べ15名参加	
英会話	10クラス【基礎(3クラス)、初級(2クラス)、中級(3クラス)、上級(2クラス)】 受講者数:102名
韓国語	4クラス【基礎、初級、中級、上級】 受講者数:70名
ドイツ語	3クラス【初級、中級、上級】 受講者数:29名
スペイン語	2クラス【初めてのコミュニケーション、文化・トラベル】 受講者数:16名
ポルトガル語	1クラス【初級】 受講者数:5名

中国語	2クラス【入門・初級①、初級②③】 受講者数:33名
後期（各講座全15回(中国語のみ全10回)） 講座期間:10月6日～2月15日 申込期間:9月4日(水)～13日(金) ・ランゲージカフェ(無料オープン講座)開催 9/8(日) 延べ26名参加 ・英会話レベルチェック相談会開催 9/8(日)、9/12(木) 延べ20名参加	
英会話	10クラス【基礎(2クラス)、初級(2クラス)、中級(3クラス)、上級(2クラス)】 受講者数:98名
韓国語	4クラス【基礎、初級、中級、上級】 受講者数:49名
ドイツ語	3クラス【初級、中級、上級】 受講者数:22名
スペイン語	2クラス【初めてのコミュニケーション、文化・トラベル】 受講者数:17名
ポルトガル語	1クラス【初級】 受講者数:5名
中国語	2クラス【入門・初級①、初級②③】 受講者数:22名

□ 特別事業

国際交流、国際理解、国際貢献を推進するための「協会主催事業」として事業を実施した。

(1) 講演会

犬山市コミュニティ通訳サポーターとして活躍している佐伯リリアナ氏(南米エクアドル出身)の父、ホセ氏による講演。ホセ氏は、エクアドル、オタバロ在住。ミュージシャン、政治家として活躍。自身の体験をもとに話を伺う。フォルクローレ音楽、エクアドル民族衣装も披露いただく。

開催日:9月29日(日) 13:30～15:30 場所:エナジーサポートアリーナ多目的室

テーマ:多文化共生への一歩～エクアドルの伝統音楽の調べとともに～

参加者:99名 ボランティア:3名

(2) 多文化交流カフェ

犬山近郊に住む外国籍のゲストをお迎えし、日本の古民家にて各国の文化や風土についてお話を伺う。日本人、外国人が自由に交流できる場に。

開催日:3月1日(日)13:30～15:00 ※感染症拡大防止のため中止

場所:犬山市民活動支援センター(しみんてい)

ゲスト:川崎マリア氏(フィリピン国籍)

ルイス・ブルネス・リカルド・アウツーロ氏(ペルー国籍)

ルイス・親川・リカルド・ダニエル氏(ペルー国籍)

(3) 国際貢献事業

・書き損じハガキ収集事業

内容:回収したハガキはダルニー奨学金を通じて経済的貧困で中学校教育を受けられないタイ、ミャンマー、ラオス、カンボジア、ベトナムの子どもたちの進学支援に当てる。

設置場所:犬山市役所、フロイデ、各出張所

結果：書き損じはがき 827 枚を切手に交換し寄付

合計金額 34,832 円

タイ中学生 1 人 2 年間分の学費に相当（1 人 1 年あたり 14,400 円）

(4) 事務局員研修

事務局員のスキルアップを目的とし、様々な研修に参加する。多方面の専門分野の知識習得、事例研究、情報共有など、協会の更なる活動展開ができる力を身につける。

【研修内容】

- ① (1) 平成 31 年度 第 1 回国際交流協会活動推進会議
(2) 平成 31 年度 市町村・市町村国際交流協会連絡会議
- ② 令和元年度 英会話研修
- ③ 第 80 回 CIN 地方自治体部会尾張地区分会
- ④ (1) 第 2 回国際交流協会活動推進会議
(2) 国際交流コーディネーター講座
(3) 情報交換・交流会
- ⑤ 改正入管法の施行を踏まえた多文化共生の担い手連携促進研修会(東海・北陸ブロック)
- ⑥ 令和元年度 犬山市多文化共生研修(基礎編)
- ⑦ 令和元年度地域国際化ステップアップセミナーin 愛知
- ⑧ 実践！やさしい日本語講座 ～あなたもやさしい日本語使いになろう～
- ⑨ 令和元年度 国際文化研修「第 2 回多文化共生の地域づくりコース」
- ⑩ 令和元年度 災害時外国人支援活動講座

□ 所属ボランティア運営事業

所属ボランティアグループと連携し、組織的な国際交流活動を展開するとともに、国際理解と犬山市における多文化共生の推進に役立つ事業活動を推進することを目的とし、定期的な会議開催や必要に応じた情報発信、情報共有を行う事業。

1) ボランティア保険の加入：活動助成：9 グループ

実施期間：4 月 1 日～3 月 31 日

2) ボランティア全体会議開催(全 3 回)

第 1 回ボランティア会議：4 月 23 日(火) フロイデ 7 グループ(13 名)参加

第 2 回ボランティア会議：7 月 2 日(火) フロイデ 7 グループ(16 名)参加

第 3 回ボランティア会議：3 月 5 日(木) 犬山市福祉会館 ※感染症の拡大防止の為、中止

3) 活動の広報・受付等

○「犬山グッドウィルガイド」支援活動

- ・「英語講演会」(10/6)、「外国語でお城」(1/19)、「英会話サロン」(4、9 月) 犬山市広報掲載、申込受付
- ・「令和元年度減免申請(犬山城・犬山市文化資料館・同別館・どんでん館)」手続き
- ・福祉バス利用申請補助(11/9)(ボランティア活動研修にて利用)

○「台所からの国際交流」支援活動

- ・「カタリナさんのドイツ料理講座」(令和2年4月) 犬山市広報掲載
- ※コロナウイルス感染症の拡大防止の為、中止

○「B.ブリッジズ」支援活動

- ・「NY から Xaverian High School ジャズバンドとジャズコーラス ホームステイ家族募集」犬山市広報掲載
- ※コロナウイルス感染症の拡大防止の為、中止

○「IK ひろば」支援活動

- ・福祉バス利用申請補助(11/23)(ボランティア活動研修にて利用)

□ 補助支援事業

地域住民の国際交流活動の活性化を図るため、犬山国際交流振興助成金を交付した。

- ・青少年健全育成を目的とした「ボーイ・ガールスカウト台湾童子軍交流事業」に対して、ボーイ・ガールスカウト犬山連絡協議会へ助成金を交付した。

8月17日～21日(5日間)

訪問場所: 中華民国(台湾) 草屯市及び台北市 参加者: 12名

- ・市民に向け国際交流理解および外国語に親しむ機会の提供を趣旨とする、「英語講演会」実施に対して、犬山グッドウィルガイドへ助成金を交付した。

10月6日(日)

場所: エナジーサポートアリーナ 参加者: 27名 来賓、関係者、スタッフ: 21名

□ 広報事業

事業内容や活動状況を一般に広く分かりやすく知らせ、理解を求める事業

犬山広報掲載日	掲 載 内 容
4月1日号	・前期語学講座
6月1日号	・国際交流員によるドイツ語講座 初級コース (全10回)
8月1日号	・フロイデまつり
9月1日号	・後期語学講座 ・国際交流員によるドイツ語講座 初級コース (全10回)
9月15日号	・多文化共生への一歩～エクアドルの伝統音楽の調べとともに～ ・英語講演会 (犬山グッドウィルガイド主催)
10月1日号	・国際交流員によるドイツ語講座 中級コース～文法 intensiv (全5回)
11月1日号	・国際交流員によるドイツの部屋「小麦粉を使わないクッキー」 ・国際交流員によるドイツの部屋「クリスマスクッキー」
12月1日号	・国際交流員によるドイツ語講座 初級コース (全8回)
1月1日号	・国際交流員によるドイツ語講座 中級コース (全5回) ・外国語でお城を見学しよう (犬山グッドウィルガイド主催)
2月1日号	・書き損じハガキ
3月1日号	・NYから Xaverian High School ジャズバンドとジャズコーラス ホームステイ家族募集 (B.ブリッジズ)
3月15日号	・カタリナさんのドイツ料理講座 (台所からの国際交流主催)

その他広報

- ・尾北ホームニュース

8月23日「第24回フロイデまつり」

9月27日「多文化共生への一歩～エクアドルの伝統音楽の調べとともに～」

- ・学びナビ

8月掲載 「後期語学講座」

9月掲載 「多文化共生への一歩～エクアドルの伝統音楽の調べとともに～」

- ・チャレンジ犬山(愛知北 FM 放送まちの放送室 FM84.2)

4月12日出演「前期語学講座、ランゲージカフェ」

協会ホームページ更新 協会のホームページで各事業の案内を行った。
在住外国人向けに「COVID-19」ページを増設
協会会員メール案内 メール登録済みの会員へ各事業の案内を行った。
協会 Facebook 更新 協会の Facebook で各事業の案内を行った。
在住外国人向けに「COVID-19」の案内を各言語で発信
協会 LINE 新設 ※令和2年度より活用開始

□ その他

後援名義申請許可書発行

- 第 16 回犬山踊芸祭(6 月 1 日、2 日開催)
- 犬山グッドウィルガイド主催 「英語講演会」(10 月 6 日開催)
- B.ブリッジズ主催 「犬山交流の旅」(4 月 1 日～4 月 10 日開催)
- 一般社団法人言語交流研究所 ヒップファミリークラブ主催
教育講演会「7ヶ国語で話そう」(7 月 8 日、11 日開催)

所属 ボランティアグループの主な事業

各ボランティアグループから提供された活動実績は以下のとおりで、IIA活動全体の発展に重要な役割を担った。

□ 犬山日本語教室 * 会員数 14 名

1) 日本語教室

犬山市近隣在住の外国人に対し、レベルに応じてクラスに分け日本語を指導

国籍:インド、インドネシア、ベトナム、ブラジル、中国、アメリカ、イギリス、トルコ、ジャマイカ等

・4 月～9 月 毎週日曜日 午前 10 時～午前 11 時 45 分 開催回数:24 回

場所:フロイデ 2, 3 階、IIA プラザ

参加人数:421 名

・10 月～3 月 毎週日曜日 午前 10 時～午前 11 時 45 分 開催回数:19 回

場所:犬山市福祉会館 3, 4 階

参加人数:371 名

2) フロイデまつり サマーフェスティバル

8 月 25 日(日) 場所:フロイデ 4 階ホール 参加者 22 名

内容:ベトナム(2 名)インドネシア(1 名)の学習者がお国の歌を披露。

3) 交流会

12 月 8 日(日) 場所:からくり展示館、城とまちミュージアム、城下町 参加者:18 名

内容:ナイスで犬山のボランティアガイドの案内でからくり展示館等を見学、その後街並み散策

4) ボランティアスキルアップ講座

1 月 23 日、30 日、2 月 13 日 場所:愛知県国際交流協会 参加人数:4 名

講座内容:やさしい日本語講座。外国人にもわかるような簡単な表現方法を学ぶ

2 月 6 日 場所:愛知県国際交流協会 参加人数:1 名

講座内容:外国につながりを持つこども向け日本語ボランティア講座。将来の学童受入に向けて学ぶ

2 月 19 日 場所:愛知県国際交流協会 参加人数:1 名

講座内容:初めて習う日本語。まったく日本語が分からない外国人への教え方を学ぶ

□ 犬山グッドウィルガイド * 会員数 30 名

1) ボランティアガイド

世界 57 か国から 1,430 人の外国人の方に犬山城・史料館や周辺スポットをご案内

・待機ガイド

通年 場所:犬山城 参加者:ゲスト 1,447 名、会員 536 名

内容:フリーで訪れた外国人ゲストに、犬山城・街並等を外国語で案内

・要請ガイド

通年 場所:犬山城・ミュージアム等 参加者:要請 23 件(ゲスト 362 名、会員 59 名)

内容:ホームページ経由や IIA を通じて予約したゲストを案内。

※集計の都合上、2019 年 1 月～12 月の実績を以って、年度実績と代えている。

2) 国際交流・支援

・犬山・日本文化紹介

通年 場所:犬山城・有楽苑等 参加者:5 件(ゲスト 105 人、会員 26 人)

※件数データは、ボランティアガイドと重複

3) 一般市民向け「国際交流理解」に関する活動

・英語講演会

10 月 6 日(日) 場所:犬山体育館 参加人数:45 名参加(内、市民 27 名)

テーマ:「カタリナの日本滞在記～わたしの見た日本とジャペンイングリッシュ」

講師:犬山市市国際交流員 カタリナ・カウフマン氏

・外国語でお城

1 月 19 日(日) 場所:犬山城 参加人数:一般 22 名、会員 11 名

内容:メンバーの相互研鑽を兼ねて、一般市民に外国語でお城を案内

・英会話サロン(ニュースレター共催)

前期 5 月～9 月、後期 10 月～2 月(全 15 回)

場所:前期 フロイデ、後期 犬山市福祉会館

参加人数:前期 20 名、後期 16 名

内容:英語による自由な会話を通じて、英語に慣れ親しむ機会の提供

4) 研修、その他

・研修旅行

11 月 9 日(土) 場所:大垣城 参加人数:会員 18 名、一般 1 名

内容:大垣城/奥の細道むすびの地記念館 ガイド:「ふるさと大垣案内の会」

・入会希望者へのガイダンス

通年 場所:犬山城 希望者:10 名(研修中 1 名)

内容:入会希望者に対しガイダンス。入会前に数回の同行研修を実施。

・フロイデまつり サマーフェスティバル

8 月 25 日(日) 場所:フロイデ 参加人数:11 名

内容:「IIA ボランティアグループの活動紹介」コーナーについて、企画から準備を担当

当日は外国人の案内、駐車場整理等を担当

・新年懇親会

2 月 1 日(土) 場所:竹とも 参加人数:19 名

・救急・救命訓練

7 月 8 日(月) 場所:フロイデ 参加人数:20 名

内容:ガイド中のケガや急病に備え、犬山消防署の協力を得て実施

・防災訓練

1 月 24 日(金) 場所:犬山城 参加人数:8 名

内容:犬山城防災・避難訓練に参加

・勉強会

2 月 23 日(日) 場所:坊の塚古墳 参加人数:11 名

内容:坊の塚古墳現地見学および勉強会

講師:各務原市歴史民俗資料館学芸員

・SGG 中部・甲信越ブロック大会

10月13日(日)、14日(月) 場所:長良川鵜飼ミュージアム 参加人数:8名
内容:政府観光局登録グループの情報交換と実地研修
(岐阜/各務原/可児/郡上八幡/関)

□ 台所からの国際交流 * 会員数 5名

・料理講習

5月28日(火) 場所:名古屋経済大学 参加人数:20名

6月11日(火) 場所:名古屋経済大学 参加人数:25名

7月9日(火) 場所:名古屋経済大学 参加人数:20名

内容:名古屋経済大学の学生と簡単にできる日本料理

・フロイデまつり サマーフェスティバル

8月25日(日) 場所:フロイデ

内容:国際交流員企画事業「ドイツの部屋」のケーキ作りのサポートや当日の手伝い

・国際交流員によるドイツの部屋「小麦粉を使わないクッキー」、「クリスマスクッキー」

12月1日(日)、8日(日) 場所:犬山市南部公民館

内容:当日のサポート

□ HPクラブ * 会員数 15名 ※ 令和元年度9月末日にて解散

・PC初級者の勉強会(IIA会員のみのみ)

毎週火曜日 13:00~15:00 場所:フロイデ IIA プラザ

参加者:平均 10人/回

内容:ノートパソコンを使い Word・Excel 等の勉強会

・フロイデまつり サマーフェスティバル 「名前シール作り」

8月25日(日) 場所:フロイデ 1階 交流・情報サロン

参加人数:60名

内容:フロイデまつりにて、「名前シール作り」の出版

□ IKひろば * 会員数 10名

・年度総会

5月25日(土) 場所:ビストロソウソウ 参加人数:5名

内容:活動報告・会計報告・2019年度活動予定報告・親睦会

・研修旅行

11月23日(土) 場所:滋賀県長浜市「東アジア交流ハウス 雨森芳州庵」 参加人数:21名

内容:犬山市福祉バスを利用し、朝鮮通信使として活躍した「雨森芳州庵」を訪れその功績を学んだ。

□ フロイデ応援団 * 会員数 17名

・フロイデまつり サマーフェスティバル

8月25日(日) 場所:フロイデ

内容:フロイデまつりに関わる運営サポート(設営・片付け:計3日間 (8/8、8/24、8/25))

のぼり旗設営、ポスター貼り、エントランス看板設営、装飾品準備、机・イスの運搬、撤去等

□ 国際理解・協力 * 会員数 16名

・フロイデまつり

8月25日(日) 場所:フロイデ 1階、4階

内容:フロイデまつりに関わる運営サポート、当日無料配布のかき氷のサポート

□ 姉妹都市 Davis 友好交流協会 FOD(Friends Of Davis) * 会員数 31 名

- ・ FOD 常任幹事会

4 月 4 日(木) 場所:どんでん館 参加人数:12 名

内容:デービスゲスト歓迎レセプション準備検討会

- ・Davis 市長一行歓迎レセプション

4 月 7 日(日) 場所:フロイデ会議室 参加人数:39 名

内容: Davis 市長、市議、市芸術館館長の来犬。歓迎レセプション終了後、夜車山「真光」運行に同行し、伝統的はまつり若衆の男心意気を肌で感じ、ユネスコ無形文化遺産の日本伝統文化を十分に堪能。

- ・デービス学者の来犬

9 月 13 日(金)～14 日(土) 場所:美濃加茂、犬山、名古屋

内容:デービス校エネルギー、環境、経済政策研究所教授(現退職)の来犬。

- ・日本の自然鑑賞(ぎふ清流里山公園)
- ・歓迎レセプション(犬山市福祉会館)
- ・犬山市内観光案内(犬山城、城下町)
- ・名古屋市内観光(名古屋城、徳川庭園)

□ B.ブリッジズ * 会員数 200 名

- ・第 7 回 NY ザバーリアン高校ジャズバンド&コーラス犬山交流の旅

2 月 25 日 場所:犬山市役所 205 会議室 参加人数:約 150 名

内容:ホストファミリー説明会 ※ コロナウイルス感染症の為、中止した

令和元(2019)年度 犬山国際交流協会 収支決算書

収 入 総 額	15,042,182 円
支 出 総 額	14,441,391 円
繰 越 金	600,791 円

収入の部(R1-1)

(単位:円)

科 目	予算額	収入済額	増 減	内 訳
1. 会費	1,260,000	1,082,000	△ 178,000	会費 個人334口×2,000 668,000 家族 11口×4,000 44,000 賛助会員(法人等) 74口×5,000 370,000
2. 補助金	6,675,000	6,675,000	0	運営補助金 6,675,000
3. 受託金	3,013,001	2,816,838	△ 196,163	国際交流推進事業委託業務 1,222,649 (日本語教室開催事業、ニュースレター発行・発信事業等) 国際交流事業開催委託業務 539,827 (フロイデ'まつり) コミュニティ通訳育成事業委託業務 444,874 犬山市各種申請書等翻訳事業委託 609,488
4. 諸収入	3,739,050	3,656,744	△ 82,306	語学講座受講料 3,648,700 預金利子 44 その他収入 8,000
5. 繰越金	811,600	811,600	0	前年度からの繰越金 811,600
合 計	15,498,651	15,042,182	△ 456,469	

支出の部 (R1-2)

(単位:円)

科 目	当初予算額	流用額	現状予算額	支出済額	差 額	内 訳
1. 会議費	303,200	0	303,200	207,248	95,952	<div>総会 199,843 (会議室使用料、資料作成、郵送料等)</div> <div>理事会 7,405 (会議室使用料)</div> <div>運営委員会 0</div>
2. 受託事業費	2,739,092	0	2,739,092	2,369,742	369,350	<div>国際交流推進事業委託業務 1,032,942 (日本語教室開催事業、ニュースレター発行・発信事業等)</div> <div>国際交流事業開催委託業務 529,627 (フロイデまつり)</div> <div>コミュニティ通訳育成事業委託業務 344,974</div> <div>犬山市各種申請書等翻訳事業委託 462,199</div>
3. 自主事業費	4,224,820	100,000	4,324,820	4,322,359	2,461	<div>補助支援事業 62,316</div> <div>語学講座開設事業 4,146,604</div> <div>広報事業 25,709</div> <div>特別事業 83,802 (講演会等)</div> <div>所属ボランティア運営事業 3,928</div> <div>4. 事務費 より流用 100,000</div>
4. 事務費	8,102,528	△ 100,000	8,002,528	7,512,042	490,486	<div>人件費 7,196,044</div> <div>旅費 23,910</div> <div>需用費 50,821</div> <div>役務費 183,611</div> <div>備品購入費 5,080</div> <div>負担金 52,576</div> <div>3. 自主事業費 へ流用 △ 100,000</div>
5. 繰出金	30,000	0	30,000	30,000	0	周年記念事業等特別積立金への繰出金 30,000
6. 予備費	99,011	0	99,011	0	99,011	0
合 計	15,498,651	0	15,498,651	14,441,391	1,057,260	

令和元(2019)年度 在住外国人支援基金 収支報告書

令和2年3月31日現在

収入の部

(単位:円)

項 目	金 額	備 考
前年度繰越金	910,764	
貸付金返金	0	貸付人数1人
利息	8	
合 計	910,772	

支出の部

(単位:円)

項 目	金 額	備 考
貸付金	0	生活支援金貸付
合 計	0	

(単位:円)

差引き収支	910,772
-------	---------

令和元(2019)年度 犬山国際交流協会周年記念事業等特別積立金 収支報告書

令和2年3月31日現在

収入の部

(単位:円)

前年度繰越金	701,271	
繰入金	30,000	
利息	6	
合 計	731,277	

支出の部

(単位:円)

項 目	金 額	備 考
	0	
合 計	0	

(単位:円)

差引き収支	731,277
-------	---------

令和 2(2020)年度 犬山国際交流協会役員(案)

【理事】

任期:令和 2 年 6 月 28 日～令和 4 年通常総会開催日

氏 名	役 職
奥村 英俊	
社本 一三	
金村 久美	
祖父江 泰浩	
福富 孝弘	
境 正人	
長谷川 真澄	
小川 益子	

【監事】

令和 2 年 6 月 28 日～令和 4 年通常総会開催日

氏 名
堀場 秀樹
中田 哲夫

議案第 4 号

令和 2(2020)年度犬山国際交流協会事業計画 (案)

事 業	日 程	場 所
◇ 会議事業 ・ 通常総会、交流会 ・ 理事会 ・ 運営委員会	6 月 27 日 通年 通年	犬山市民交流センター「フロイデ」(以下、フロイデと称する)
■ 国際交流推進事業委託業務 【受】 (1) 日本語教室開催事業 (2) 多文化共生推進員企画事業実施業務 (3) 国際交流員企画事業実施業務 ・ ドイツ語講座 他 (4) 海外受入事業	通年 毎週日曜日 調整中 9 月、1 月他 調整中	フロイデ フロイデ 調整中 犬山市内
□ 補助支援事業 (自)	通年	犬山市内
□ 語学講座開設事業 (自) ・ 前期語学講座 ・ 後期語学講座 各 15 回、6 言語、22 講座 (※中国語各 10 回)	(講座期間) 5 月 10 日～9 月 5 日 10 月 6 日～2 月 15 日	フロイデ
□ 広報事業 (自)	通年	フロイデ
□ 特別事業 (自) (1) 講演会 (2) 多文化交流カフェ開催事業 (3) 多言語情報発信 (4) ホームビジット (5) 各国料理講座 (6) 書き損じハガキ収集事業	10 月 8 月、11 月、2 月 9 月、12 月、3 月 調整中 10 月、12 月、2 月 通年	フロイデ フロイデ 市内 " 犬山市内
□ 所属ボランティア運営事業 (自) ・ ボランティア会議	7 月、11 月、3 月	フロイデ

※ □ : 自主事業 ■ : 受託事業

新事業 (案)

(2) 多文化交流カフェ開催事業

目的: 地域に住む外国人と日本人の壁を少しでも取り去り、一人一人が尊重される地域社会を目指す

内容: 外国籍のゲストを複数人お招きし、母国の文化や風土、日本に来て困ったこと、母国と日本との違いなどをパネルディスカッション形式で伺う。参加者からの質問も受付ける。お茶やお菓子を食べながら、気軽に双方に自由に話せる場を設ける。終了前に、次の告知を行い、継続的な参加を呼び掛け、気軽に相談や話ができる場の提供を行う。

(3) 多言語情報発信事業

目的：外国人住民が暮らしに役立つ情報を取り上げ、多言語で継続的な情報発信を行うことで、地域未来のための多文化共生を推進する。

内容：外国人が知りたい情報を取り上げ、多言語（7言語）で翻訳し、情報発信をする。

(4) ホームビジット事業

目的：留学生が生活の中で日本文化に触れ、地域のホストファミリーとのつながりを築く中で、犬山市を第二の故郷と感じてもらうことで、将来、地域に貢献する人材の輩出に寄与する。

内容：留学生が市内で一般家庭を訪問し、日本文化体験を通じ、相互の交流を深める。

(5) 各国料理講座開催事業

目的：言葉の壁を越えた食文化から、外国人と日本人住民の気軽な関係性づくりを目指す。

内容：外国と、日本の料理講座を開催し、継続的な参加を呼びかけ、相互に料理を通じた文化交流ができる料理講座を開催する。

各ボランティアグループ予定事業

□ 犬山日本語教室 * 会員数 12 名

1) 日本語教室

開催日時:原則毎週日曜日 午前 10 時～11 時 45 分

開催日数:全47 回程度 クラス数:5(レベルに応じて日本語指導)

開催場所:フロイデ

2) 研修会等

- ・他団体日本語教室見学

内容:近隣の日本語教室の見学とその教室のボランティアとの交流 日程:未定

- ・ボランティア研修会

内容:ボランティアの指導力向上の為の研修会 日程:未定

- ・交流会 日程:未定

□ 犬山グッドウィルガイド * 会員数 31 名

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により見通し立たず、今年度の活動は未定

1) ボランティアガイド

- ・待機ガイド

内容:フリーで訪れた外国人のお客さんに対し、外国語で犬山城及び街並ミュージアム等を案内する。

通年 場所:犬山城 参加者:見通し立たず

- ・要請ガイド

内容:IIA 経由、ホームページより予約を受け、ガイドする

通年 場所:犬山城・史料館・街並等 参加者:見通し立たず

2) 国際交流・支援

- ・犬山、日本文化紹介

通年 場所:犬山城・史料館等 参加者:見通し立たず

3) 一般市民向け「国際交流理解」に関する活動

- ・英語講演会(IIA 後援)

内容:犬山又は周辺地域の外国人による英語講演会。市民の皆さんに、外国人の視点、英語と触れる機会を提供する。

9 月 場所:未定

- ・外国語でお城(IIA 後援)

10 月 場所:犬山城

- ・英会話サロン(犬山ニュースレター共催)

内容:英語による自由な会話を通し、英語に慣れ親しむ機会を提供する。

前期・後期各 11 回 場所:フロイデ

4) 教育・研修、その他

- ・研修旅行

内容:歴史・お城に関連した地を訪問し、知識を深めると共に会員相互の親睦を深める。

10 月か 11 月 場所:未定

- ・勉強会(ガイド研修)

内容:日頃のガイド活動に関連する事柄・場所等について専門家より学ぶ。

6 月か 7 月 場所:未定

- ・新人研修

内容:入会希望者の問合せに対し、活動内容を資料とガイドデモンストレーションにより説明。

数回の同行研修を経て、入会可否判断を行う。

6 月、11 月 場所:犬山城

・ 他 S G G との交流

10 月 ・ 犬山を訪れた S G G との交流・意見交換

・ S G G 全国大会@京都

・ 懇親会

1 月か 2 月 新年会

3 月 総会後の昼食会

□ 台所からの国際交流 * 会員数 5 名

・ 年に 3〜4 回程度 料理講習と海外の食文化の勉強会開催

□ IKひろば * 会員数 7 名

・新型コロナウイルス感染症の影響により見通したたず、今年度の活動は白紙

□ フロイデ応援団 * 会員数 17 名

・地域の垣根を越えて、会員、市民、在住外国人相互の親睦と融和を図る国際交流のまつり開催等

□ 国際理解・協力 * 会員数 5 名

・新型コロナウイルス感染症の影響により見通したたず、今年度の活動は白紙

□ 姉妹都市 Davis 友好交流協会 FOD (Friends Of Davis) * 会員数 31 名

・新型コロナウイルス感染症の影響により見通したたず、今年度の活動は白紙

□ B.ブリッジズ * 会員数 200 名

・第 7 回 NY ザバーリアン高校ジャズバンド&コーラス 犬山交流の旅

4 月 1 日〜10 日 場所:犬山市

参加者:NY から 70 名、ホストファミリー60 家族

※ コロナウイルス感染拡大の為、中止した。

□ いぬやま多言語 News * 会員数 23 名

・在住外国人の生活に役立つ情報を記事にし、多言語で翻訳。

言語:英語、中国語、スペイン語、ポルトガル語、ベトナム語、タガログ語

令和2(2020)年度 犬山国際交流協会 予算書(案)

収入の部(R2-1)

(単位:円)

科 目	本年度予算額	前年度予算額	増 減	内 訳
1. 会費	1,090,000	1,260,000	△ 170,000	会費 個人 1口 2,000円 × 300 家族 1口 4,000円 × 10 賛助会員(法人等)1口 5,000円 × 90
2. 愛知県国際 交流協会補助金	75,000	0	75,000	令和2年度 愛知県国際交流協会 国際交流推進事業費補助金 75,000
3. 補助金	5,043,000	6,675,000	△ 1,632,000	運営補助金 5,043,000
4. 受託金	1,263,645	3,013,001	△ 1,749,356	国際交流推進事業委託業務 1,263,645
5. 諸収入	2,550,000	3,739,050	△ 1,189,050	語学講座受講料 2,510,000 預金利子 50 その他収入 39,950
6. 繰越金	600,791	811,600	△ 210,809	前年度からの繰越金 600,791
合 計	10,622,436	15,498,651	△ 4,876,215	

支出の部(R2-2)

(単位:円)

科 目	本年度予算額	前年度予算額	増 減	内 訳
1. 会議費	194,000	303,200	△ 109,200	総会 165,000 理事会 19,000 正副会長会議 10,000
2. 受託事業費	1,148,768	2,739,092	△ 1,590,324	国際交流推進事業委託業務 1,148,768
3. 自主事業費	3,290,000	4,224,820	△ 934,820	補助支援事業 30,000 語学講座開設事業 2,820,000 広報事業 35,000 特別事業 375,000 所属ボランティア運営事業 30,000
4. 事務費	5,893,000	8,102,528	△ 2,209,528	人件費 4,800,000 旅費 30,000 需用費 335,000 役務費 325,000 備品購入費 16,000 使用料及び賃借料 385,000 負担金 2,000
5. 繰出金	0	30,000	△ 30,000	周年記念事業等積立金
6. 予備費	96,668	99,011	△ 2,343	96,668
合 計	10,622,436	15,498,651	△ 4,876,215	

※ 各科目の予算額は、各科目間において流用することができる。

犬山国際交流協会会則の一部改正(案)について

犬山国際交流協会会則(平成 25 年 6 月 15 日施行)の一部を次のように改正する。

犬山国際交流協会会則 (案)

第 1 章 総則

(名称)

第 1 条 この協会は、犬山国際交流協会（INUYAMA INTERNATIONAL ASSOCIATION 「IIA」と称す。）という。

(事務所)

第 2 条 この協会は、主たる事務所を愛知県犬山市松本町 4 丁目 21 番地に位置する犬山市民交流センター「フロイデ」内に置く。

第 2 章 目的及び事業

(目的)

第 3 条 この協会は、犬山市における多文化共生と国際理解の推進に資する事業活動を推進するとともに、犬山市内外の国際交流を担うボランティア団体と連携し、組織的な国際交流活動を展開することを目的とする。

(事業活動の種類)

第 4 条 この協会は、前条の目的を達成するため、次の事業活動を行う。

- (1) 国際交流を推進する活動
- (2) 国際理解を深める活動
- (3) 多文化共生を図る活動
- (4) 情報発信と広報の推進を図る活動

(事業)

第 5 条 この協会は、第 3 条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 犬山市から受託した事業
- (2) 自主事業
- (3) 所属ボランティア組織による活動
- (4) 連携団体との共同活動
- (5) その他本協会の目的を達成するために必要な事業

第 3 章 会員

(種別)

第 6 条 この協会の会員は、次の 2 種とする。

- (1) 正会員 この協会の目的に賛同して入会した個人（家族会員を含む。）
- (2) 賛助会員 この協会の事業に賛助する法人等

(入会)

第 7 条 会員の入会については、特に条件を定めない。

- 2 会員として入会しようとするものは、会長が別に定める入会申込書により、会長に申し込むものとし、会長は、正当な理由がない限り、入会を認めなければならない。
- 3 会長は、前項のものの入会を認めないときは、速やかに、理由を付した書面をもって本人にその旨を通知しなければならない。

(会費)

第8条 会員は、次に掲げる年会費を納入しなければならない。

- (1) 正会員（個人） 一口 2, 0 0 0 円
- (2) 正会員（家族会員） 一口 4, 0 0 0 円
- (3) 賛助会員（法人等） 一口 5, 0 0 0 円以上随意の金額

(会員資格の喪失)

第9条 会員が次のいずれかに該当するに至ったときは、その資格を喪失する。

- (1) 退会届の提出をしたとき。
- (2) 本人が死亡したとき。
- (3) 継続して2年以上会費を滞納したとき。
- (4) 除名されたとき。

(退会)

第10条 会員は、会長が別に定める退会届を会長に提出して、任意に退会することができる。

(除名)

第11条 会員が次のいずれかに該当するに至ったときは、総会の議決により、これを除名することができる。この場合、その会員に対し、議決の前に弁明の機会を与えなければならない。

- (1) この協会が定める会則、規程等に違反したとき。
- (2) この協会の名誉を傷つけ、又は目的に反する行為をしたとき。

(抛出金品の不返還)

第12条 既納の会費及びその他の抛出金品は、返還しない。

第4章 役員及び職員

(種別及び定数)

第13条 この協会に、次の役員を置く。

- (1) 理事 3人以上15人以下
- (2) 監事 2人

2 理事のうち、1人を会長、2人を副会長とする。

(選任等)

第14条 理事及び監事は、会長の提案を受け、総会において選任する。

2 会長及び副会長は、理事の互選とする。

3 役員のうちには、それぞれの役員について、その配偶者若しくは3親等以内の親族が1人を超えて含まれ、又は当該役員並びにその配偶者及び3親等以内の親族が役員の総数の3分の1を超えて含まれることになってはならない。

4 監事は、理事又はこの協会の職員を兼ねることができない。

(職務)

第15条 会長は、この協会を代表し、その業務を総理する。

2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代行する。

3 理事は、理事会を構成し、この会則の定め並びに総会及び理事会の議決に基づき、この協会の業務を執行する。

4 監事は、次に掲げる職務を行う。

- (1) 理事の業務執行の状況を監査すること。
- (2) この協会の経理及び財産状況を監査すること。
- (3) 前2号の規定による監査の結果、この協会の業務、経理若しくは財産に関し不正の行為又は法令若しくは会則に違反する重大な事実があることを発見した場合には、これを総会又は犬山市所轄部局に報告すること。
- (4) 前号の報告をするため必要があると認める場合には、総会の招集を請求すること。

- (5) 理事の業務執行の状況又はこの協会の経理若しくは財産の状況について、理事に意見を述べ、又は理事会の招集を請求すること。

(役員の任期等)

第16条 役員の任期は、通常総会までの2年とする。ただし、再任を妨げない。

2 補欠又は増員によって就任した役員の任期は、それぞれの前任者又は現任者の任期の残存期間とする。

3 役員は、前2項の規定にかかわらず、後任者が選任されていない場合に限り、任期の末日後、最初の総会が終結するまで、その任期を伸長する。

(欠員補充)

第17条 理事又は監事のうち、その定数の3分の1を割り込んだときは、遅滞なくこれを補充しなければならない。

(解任)

第18条 役員が、次のいずれかに該当するに至ったときは、総会の議決により、これを解任することができる。この場合、その役員に対し、議決する前に弁明の機会を与えなければならない。

(1) 心身の故障のため、職務の遂行に堪えないと認められるとき。

(2) 職務上の義務違反その他役員としてふさわしくない行為があったとき。

(報酬等)

第19条 役員は、無報酬とする。

2 役員が職務を執行するために特別な経費を要した場合は、それを弁償することができる。

(顧問)

第20条 協会に顧問を置くことができる。

2 顧問は、会長が理事会の推薦によりこれを委嘱する。

3 顧問は、協会の業務に関して特に重要と認める事項について、理事会に出席して意見を述べることができる。

(職員)

第21条 この協会に、事務局長及びその他の職員を置く。

2 職員は、会長が任免し、雇用契約を交わすとともに、別に定める待遇、服務規程等に従わなければならない。

第5章 総会

(種別)

第22条 この協会の総会は、通常総会及び臨時総会の2種とする。

(構成)

第23条 総会は、正会員及び賛助会員をもって構成する。

(権能)

第24条 総会は、次に掲げる事項について議決する。

(1) 会則の変更

(2) 解散

(3) 合併

(4) 事業計画及び活動費予算並びにその変更

(5) 事業報告及び活動費決算

(6) 役員の選任又は解任

(7) 会費の額

(8) その他運営に関する重要事項

(開催)

第25条 通常総会は、毎事業年度1回開催する。

2 臨時総会は、次のいずれかに該当する場合に開催する。

- (1) 理事会が必要と認め招集の請求をしたとき。
- (2) 正会員総数の5分の1以上から会議の目的である事項を記載した書面をもって招集の請求があったとき。
- (3) 第15条第4項第4号の規定により、監事から招集があったとき。

(招集)

第26条 総会は、前条第2項第3号の場合を除き、会長が招集する。

- 2 会長は、前条第2項第1号及び第2号の規定による請求があったときは、その日から30日以内に臨時総会を招集しなければならない。
- 3 総会を招集するときは、会議の日時、場所、目的及び審議事項を記載した書面をもって、少なくとも5日前までに通知しなければならない。

(議長)

第27条 総会の議長は、その総会において、出席した正会員の中から選出する。

(定足数)

第28条 総会は、正会員の5分の1以上の出席がなければ開会することができない。

(議決)

第29条 総会における議決事項は、第26条第3項の規定によってあらかじめ通知した事項とする。

- 2 総会の議事は、出席した正会員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(表決権等)

第30条 各正会員の表決権は、平等なるものとする。

- 2 正会員は、各々1個の表決権を有する。ただし正会員のうち家族会員については家族で1個の表決権とする。
- 3 やむを得ない理由のため総会に出席できない正会員は、あらかじめ通知された事項について書面をもって表決し、又は他の正会員を代理人として表決を委任することができる。
- 4 前項の規定により表決した正会員は、第28条、前条第2項、第31条第1項第2号及び第52条の適用については、総会に出席したものとみなす。

(議事録)

第31条 総会の議事については、次の事項を記載した議事録を作成しなければならない。

- (1) 日時及び場所
- (2) 正会員総数及び出席者数（書面表決者又は表決委任者がある場合にあっては、その数を付記すること。）
- (3) 審議事項
- (4) 議事の経過の概要及び議決の結果
- (5) 議事録署名人の選任に関する事項

2 議事録には、会長、議長及びその会議において選任された議事録署名人2人以上が署名しなければならない。

第6章 理事会

(構成)

第32条 理事会は、理事をもって構成する。

(権能)

第33条 理事会は、この会則で定めるもののほか、次の事項を議決する。

- (1) 総会に付議すべき事項
- (2) 総会の議決した事項の執行に関する事項

- (3) その他総会の議決を要しない会務の執行に関する事項
(開催)

第34条 理事会は、次のいずれかに該当する場合に開催する。

- (1) 会長が必要と認めたとき。
 - (2) 理事総数の2分の1以上から会議の目的である事項を記載した書面をもって招集の請求があったとき。
 - (3) 第15条第4項第5号の規定により、監事から招集の請求があったとき。
- 2 会長は、前項第2号及び第3号の規定による請求があったときは、その日から20日以内に理事会を招集しなければならない。
- 3 理事会を招集するときは、会議の日時、場所、目的及び審議事項を記載した書面をもって、少なくとも5日前までに通知しなければならない。

(議長)

第35条 理事会の議長は、会長がこれにあたる。

(定足数)

第36条 理事会は、理事の3分の2以上の出席がなければ開会することができない。

(議決)

第37条 理事会における議決事項は、第34条第3項の規定によってあらかじめ通知した事項とする。

- 2 理事会の議事は、理事総数の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(表決権等)

第38条 各理事の表決権は、平等なるものとする。

- 2 やむを得ない理由のため理事会に出席できない理事は、あらかじめ通知された事項について書面をもって表決することができる。
- 3 前項の規定により表決した理事は、前条第2項及び次条第1項第2号の適用については、理事会に出席したものとみなす。

(議事録)

第39条 理事会の議事については、次の事項を記載した議事録を作成しなければならない。

- (1) 日時及び場所
 - (2) 理事総数、出席者数及び出席者氏名（書面表決者にあつては、その旨を付記すること。）
 - (3) 審議事項
 - (4) 議事の経過の概要及び議決の結果
 - (5) 議事録署名人の選任に関する事項
- 2 議事録には、議長及びその会議において選任された議事録署名人2人以上が署名しなければならない。

第7章 資産及び会計

(資産の構成)

第40条 この協会の資産は、次の各号に掲げるものをもって構成する。

- (1) 設立当初の財産目録に記載された資産
- (2) 会費
- (3) 寄附金品
- (4) 財産から生じる収入
- (5) 事業に伴う収入
- (6) その他の収入

(資産の区分)

第41条 この協会の資産は、特定非営利活動に係る事業に関する法律（平成10年法律第7号。以下「法」という。）に定める資産条項に準ずるものとする。

(資産の管理)

第42条 この協会の資産は、会長が管理し、その方法は、総会の議決を経て、会長が別に定める。

(会計の原則)

第43条 この協会の会計は、特定非営利活動に係る法第27条各号に掲げる原則に準じて行い、公益性を遵守する。

(会計の区分)

第44条 この協会の会計は、通常会計と特別会計（基金を含む）で構成する。

(事業計画及び活動費予算)

第45条 この協会の事業計画及びこれに伴う活動費予算は、理事会が作成し、総会の議決を経なければならない。

(暫定予算)

第46条 前条の規定にかかわらず、やむを得ない理由により予算が成立しないときは、会長は、理事会の議決を経て、予算成立の日まで前事業年度の予算に準じ収入支出することができる。

2 前項の収入支出は、新たに成立した予算の収入支出とみなす。

(予備費の設定及び使用)

第47条 予算超過又は予算外の支出に充てるため、予算中に予備費を設けることができる。

2 予備費を使用するときは、理事会の議決を経なければならない。

(予算の追加及び更正)

第48条 予算議決後にやむを得ない事由が生じ、重要な変更を行う事態が生じたときは、総会の議決を経て、既定予算の追加又は更正をすることができる。

2 前項の規定にかかわらず、総会開催が困難な場合には、会長の責任のもとで、理事会の決議をもって総会の議決に代えることができる。

(事業報告及び決算)

第49条 この協会の事業報告書、活動費計算書等の決算に関する書類は、毎事業年度終了後、速やかに、会長が作成し、監事の監査を受け、総会の議決を経なければならない。

2 決算上剰余金が生じたときは、次事業年度に繰り越すものとする。

(事業年度)

第50条 この協会の事業年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

(臨機の措置)

第51条 予算をもって定めるもののほか、募金活動、借入金の借入れその他新たな義務の負担をし、又は権利の放棄をしようとするときは、理事会の議決を経なければならない。

第8章 会則の変更、解散及び合併

(会則の変更)

第52条 この協会が会則を変更しようとするときは、総会に出席した正会員の3分の2以上の議決及び犬山市所轄部局の認証を得なければならない。

(解散)

第53条 この協会は、次に掲げる事由により解散する。

(1) 総会の決議

(2) 目的とする活動に係る事業の成功の不能

2 前項第1号の事由によりこの協会が解散するときは、正会員総数の4分の3以上の承諾を得なければならない。

3 第1項第2号の事由により解散するときは、総会に出席した正会員の3分の2以上の議決及び

犬山市所轄部局の認定を得なければならない。

(残余財産の帰属)

第54条 この協会が解散したときに残存する財産は、理事会の議決を経て、会長がこれを定め、犬山市所轄部局の認証を得なければならない。

(合併)

第55条 この協会が合併しようとするときは、総会に出席した正会員の3分の2以上の議決及び犬山市所轄部局の認証を得なければならない。

第9章 公告の方法

(公告の方法)

第56条 この協会の公告は、この協会の掲示場に掲示するとともに、犬山市広報に掲載して行う。

第10章 雑則

(雑則)

第57条 この会則の施行について必要な事項は、理事会の議決を経て、会長がこれを定める。

附 則

この会則は、平成24年7月7日から施行する

附 則

この会則は、平成25年6月15日から施行する。

附 則

この会則は、令和2年6月27日から施行し、令和2年4月1日から適応する。

新（案）	旧（令和元年度総会承認）
<p>（事務所）</p> <p>第2条 この協会は、主たる事務所を愛知県犬山市松本町4丁目21番地に位置する<u>犬山市民交流センター「フロイデ」</u>内に置く。</p>	<p>（事務所）</p> <p>第2条 この協会は、主たる事務所を愛知県犬山市松本町4丁目21番地に位置する<u>犬山国際観光センター「フロイデ」</u>内に置く。</p>
<p>第5条 この協会は、第3条の目的を達成するため、次の事業を行う。</p> <p>(1) <u>犬山市から受託した事業</u></p> <p>(2) <u>自主事業</u></p> <p>(3) 所属ボランティア組織による活動</p> <p>(4) 連携団体との共同活動</p> <p>(5) <u>その他本協会の目的を達成するために必要な事業</u></p>	<p>第5条 この協会は、第3条の目的を達成するため、次の事業を行う。</p> <p>(1) <u>犬山市受託事業 日本語教室開催、青少年交流育成事業、ニュースレター発行、国際交流員企画事業、多文化共生推進員企画事業など</u></p> <p>(2) <u>自主事業 ホームステイ支援事業、語学講座開催、人材育成講座開催、情報誌発行など</u></p> <p>(3) 所属ボランティア組織による活動</p> <p>(4) 連携団体との共同活動</p>
<p>（会費）</p> <p>第8条 会員は、次に掲げる年会費を納入しなければならない。</p> <p>(1) 正会員（個人）<u>一口</u> 2,000円</p> <p>(2) 正会員（家族会員）<u>一口</u> 4,000円</p> <p>(3) 賛助会員（法人等）<u>一口</u> 5,000円以上随意の金額</p>	<p>（会費）</p> <p>第8条 会員は、次に掲げる年会費を納入しなければならない。</p> <p>(1) 正会員（個人） 2,000円</p> <p>(2) 正会員（家族会員） 4,000円</p> <p>(3) 賛助会員（法人等） 5,000円以上随意の金額</p>
<p>（解散）</p> <p>第53条 この協会は、次に掲げる事由により解散する。</p> <p>(1) 総会の決議</p> <p>(2) 目的とする活動に係る事業の成功の不能</p> <p>2 前項第1号の事由によりこの協会が解散するときは、正会員総数の4分の3以上の承諾を得なければならない。</p> <p>3 第1項第2号の事由により解散するときは、<u>総会に出席した正会員の3分の2以上の議決及び犬山市所轄部局の認定を得なければならない。</u></p>	<p>（解散）</p> <p>第53条 この協会は、次に掲げる事由により解散する。</p> <p>(1) 総会の決議</p> <p>(2) 目的とする活動に係る事業の成功の不能</p> <p>2 前項第1号の事由によりこの協会が解散するときは、正会員総数の4分の3以上の承諾を得なければならない。</p> <p>3 第1項第2号の事由により解散するときは、<u>犬山市所轄部局の認定を得なければならない。</u></p>

<p>(残余財産の帰属)</p> <p>第54条 この協会が解散したときに残存する財産は、<u>理事会の議決を経て、会長がこれを定め、犬山市所轄部局の認証を得なければならない。</u></p>	<p>(残余財産の帰属)</p> <p>第54条 この協会が解散したときに残存する財産は、<u>犬山市に譲渡するものとする。</u></p>
<p>(合併)</p> <p>第55条 この協会が合併しようとするときは、<u>総会に出席した正会員の3分の2以上の議決及び犬山市所轄部局の認証を得なければならない。</u></p>	<p>(合併)</p> <p>第55条 この協会が合併しようとするときは、<u>総会において正会員総数の4分の3以上の議決及び犬山市所轄部局の認証を得なければならない。</u></p>
<p>附 則</p> <p>この会則は、平成25年6月15日から施行する。</p> <p>附 則</p> <p><u>この会則は、令和2年6月27日から施行し、令和2年4月1日から適応する。</u></p>	<p>附 則</p> <p>この会則は、平成25年6月15日から施行する。</p>

犬山国際交流協会 ボランティアグループ

犬山日本語教室

犬山日本語教室は犬山周辺に在住する外国人の日本語習得を手助けするため、犬山市の委託を受け、原則毎週日曜日の午前中にフロイデで開催しています。受講者の日本語習得度により5クラスに分かれています。

ひらがな・カタカナの基本を学習する人から、日本語能力検定受験を目指す人まで幅広く対応しています。一緒に楽しく活動していただける方を募っています。

代表 後藤 好美 TEL:(0568)61-2801

いぬやま多言語 News

在住外国人の生活に役立つ情報を記事にし、翻訳します。言語は現在、英語、中国語、スペイン語、ポルトガル語、タガログ語、ベトナム語で翻訳しています。翻訳スタッフを募集しています。お気軽にご連絡ください。

代表 日下部 和朗

E-mail: abckusakabe@fj8.so-net.ne.jp

IK ひろば

私たちは、犬山韓国交流ひろば(通称IKひろば)です。韓国ドラマ・文化に興味がある人、歴史的なつながりに関心がある人、フロイデでの韓国講座を習っている人、個人的に韓国へ行ったことのある人、韓国の食文化に触れたりしている人達が集まり立ち上げたサークルです。

種々のふれあいから韓国の人達に犬山の良さを分かっていたけよう発信していきたいと思っています。皆さんも一緒に参加してみませんか！！

代表 大住 留美 TEL:(0568)61-9657

台所からの国際交流

犬山市周辺に住んでいる外国人を講師に迎え、その国の料理を通して、歴史・文化・伝統を紹介しています。

講師役の外国人を探す事、その講師と料理・材料・当日の進め方について打合せをしたり、参加者募集、材料の購入・準備・片づけをし、講師と参加者が料理を作るお手伝いをしています。

一緒に美味しく楽しい国際交流をしませんか？

代表 日浦 若子 TEL:(0568)62-0277

姉妹都市 Davis 友好交流協会 FOD(Fiends Of Davis)

1997年に始まった犬山とDavisのマラソン交流が縁となり、Davis側から両市の姉妹都市関係締結に強い要望が出され、これに対し犬山市議会は行政主導でなく民主導による関係促進を条件として両市のパートナーシップを承認しました。その結果、2001年姉妹都市盟約が交わされ、犬山市より交流促進の団体委嘱を受けてFODが誕生しました。

スポーツ交流、文化交流を行っており、特に文化交流では日本の伝統文化の紹介などを通して国際理解を深めています。毎年、Davis市民の個人的な訪問を受けます。さらに毎年Davisの来犬者に対するポトラック式のレセプションを開いて、メンバー間の懇親も深めています。国際交流に関心をお持ちの方、英語が堪能な方、そうでない方、世代を問わずどなたでも気楽に入会いただける会です。

代表:立田 富美江 E-mail: twothreee2010@ezweb.ne.jp

犬山国際交流協会 ボランティアグループ

犬山グッドウィルガイド

犬山を訪れる外国のお客さんに、犬山城・街並等を案内しています。(英・独・中・韓・仏語)

留学生へのガイダンスや国際会議参加の方への日本文化の紹介・犬山城等の案内、また市民の皆様を対象とした「英語講演会」「外国語でお城を見学しよう」の企画も行っています。

「外国語のスキルを役立てたい」「犬山の魅力を伝えたい」等、始めたきっかけは様々ですが、お客さんの「犬山に来て良かった！」の一言が、喜びです。

代表 滝澤 公二

E-mail: contact@inuyamagoodwillguide.jp

URL: www.inuyamagoodwillguide.jp

フロイデ応援団

「犬山国際観光センター(フロイデ)を市民交流の場に！」そんな熱い思いを持ったメンバーが集まって結成しました。年に1度のフロイデまつりでは、応援団が中心となり開催しています。あなたのすばらしいアイデアが人と人との架け橋になります。フロイデに世界中の人を呼びましょう。

団長 日比野 清正 TEL:(0568)61-4189

国際理解・協力

在住外国人と地域に住む日本人との異文化交流を促進し、在住外国人が安心して住める環境づくりを目指して活動しています。

代表 江口 繁雄 TEL:(0568)62-1226

B.ブリッジズ

NYブルックリンにあるザバーリアン高校生が犬山に初めて来たのが2005年春、以来犬山からNYへとお互いに交流を重ね、2013年春40名がブルックリンパローホール(市役所)で犬山デーと題し、書道・居合道・茶道のパフォーマンスを紹介しながらワークショップを行いました。当日は大勢のニューヨーカーで賑わい、道行く人々も足を止めていました。ザバーリアン高校はカトリック系の学校でその中からジャズバンドとコーラス部の生徒たちおよそ70名が犬山はじめ近隣の市町でホームステイをしながら音楽を通じて交流を深めています。3.11の東日本大震災、その後のNYハリケーンサンディでは相互が義援金活動するなど、お互いの絆はこの交流の継続の中で更に強くなりました。他にもNYへ日本語講師を派遣したりなど、未来を担う若者たちの相互理解と国際理解の促進に貢献する活動を行っています。

代表 ビアンキ 恵子 連絡先:B.ブリッジズ事務所 犬山市犬山東古券 172 メゾンヤマモト 103
TEL:(0568)62-6016 E-mail: mail@bianchi-inuyama.com

～事務局ボランティア募集～

○ イベントの設営・準備ボランティア募集

「多文化交流カフェ」や「講演会」など当協会主催の各事業の設営・準備のボランティアを随時募集しています。国際交流や多文化共生に関心がある方、私たちと一緒にイベントを作ってみませんか？

問合せ先：犬山国際交流協会事務局 〒484-0086 犬山市松本町四丁目 21 番地

TEL:(0568)48-1355 FAX:(0568)48-1356

E-mail: jia@grace.ocn.ne.jp URL: <http://jia.info>